

【言葉の有難さ・大切さ】

皆さんは【言霊（ことだま）】をご存知ですか？

古代日本で【言葉に宿っている、と信じられた不思議な力。発した言葉どおりの結果を現す力がある】とされたそうです。

言葉は本当に大事だと思います。

ステキな言葉を聞けば力を貰えるし、時にはダメージを受ける場合もあります。

皆さんも、そんな経験はたくさんしてきたことでしょう。

自分で発した言葉でも「あんなこと言わなきゃよかった」と後悔する場合もあれば、人助けになるメッセージを伝えられたこともあると思います。

とにかく言葉には特別な力があるようです。

清香会がお世話になっている法律事務所があります。

主宰の弁護士さんが、毎月メールで「心に響くような言葉」を送って下さいます。

私も今までそのメッセージに、たくさん助けられてきました。

例えば、一休さん（沢庵和尚）の言葉【大丈夫・心配するな・何とかなる】。

これは、お弟子さん達に「もし本当に困ったことが起きたら、この中身を読みなさい」と遺言したものだそうです。

いよいよ本当に大事件が起き、「今こそ見るべき」と開けてみたら、この言葉…

お弟子さん達は思わず力が抜けて、でも「その通りだ」と運を天に任せるような気持ちで臨んだら本当に何とかなった、という話です。

皆さんも仕事上やいろんな状況で、こんなエピソードありませんか？

気負い過ぎない方がスムーズにいくこともあるんですね。

この逸話を知ってから、私も度々この言葉【大丈夫・心配するな・何とかなる】を使っています。

面白いし、自分も相手もちょっと元気になりますよね。

有難い言葉です。

私には、子ども達や職員、保護者の皆さんやいろいろな方に話をさせて頂く機会がありますが…
今までの自分のマズイ経験（言葉が足りずよく伝わらなかったり、うっかり失礼なことや間違っ
たことを言ってしまった…）から、気をつけようと思うことがたくさんあります。

その1つが「まずは相手の話をよく聴くようにする」です。

例えば保育中、その場面だけを見ると、その子がトラブルを起こしているように見えます。

先に「それは良くないよね」と言ってしまう前に「どうしたの？」と平常心で聴く。

つまり“きっと、こうだろう”と決めてかかるのではなく、ジャッジせずに聴こうとする。

するとそのトラブルは、逆にその子が迷惑を受けている、と判明することがあります。

要するに「自分の思い込みで判断してしまわないよう」に意識して聴くことが大切…なんですね。

落ち着いて聴いてからベストな言葉を選んで発信した方が丁寧だし、相手に対しても失礼に当たらない、ということです。

皆さんの「ホッとするようなエピソード」や「有難いな～」と思った言葉など、たくさんあると思うので、是非お聞かせ下さいね！

（加賀谷）